通信 ともに
第103号
2023年12月20日発行
認定NPO法人ともに
住所　〒044-0053
北海道虻田郡倶知安町北３条西２丁目１－１
でんわ　（0136）55−5828
ＦＡＸ　（0136）55−5829
Ｅメール　info@npo-tomoni.com
ホームページ　http://www.npo-tomoni.com　　ブログ　http://blog.canpan.info/npotomoni/

こころのルネッサンス

９月30日、10月１日の２日間NPO法人MiMaTa主催で当法人が後援した「第20回こころのルネッサンス」が倶知安町の保健福祉会館で開催されました。

当法人からも利用者、職員合わせて5人が参加。当事者研究コーナーではメンバーの一員として参加した利用者が積極的に発言していました。

今月の一句詠む読む

俳句・川柳の投稿はカフェの投稿箱、
もしくはEメール　info@npo-tomoni.com　へ。

クリスマス
仕事の私は
苦労（クロ）シマス
山河水鏡

詠み人解説
世間は間もなくクリスマス。喜ぶ子どもたちのために、親は毎日がんばっています。

亡くなった
母を偲びて
我淋し
K・Y

詠み人解説
この世に自分を与えてくれた感謝の気持ちを込めて。

知りたいと
年賀状で
消息を
さかさかまぼこ

詠み人解説
そういえばあの人は今、と思い返し、年賀状で一筆啓上。（郵便局からオファー来ないかな・笑）

精神科医　土田正一郎の

その85　耐久力

この精神保健福祉医療の領域では、いろいろな力が必要になっている。それは「攻撃力」ではなく「守備力」かな、もっと言うと「耐久力」だったりする。

「あいまいさに耐える力」なんてのは、生半可なことでは身に着けることのできない垂涎の的である。この力は是非とも手に入れておきたい。

各事業報告〜12月15日現在

障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい　契約／Ｂ型20人

グループホーム よろこび　利用者数　22人　空室なし

K.S.C. Juntos　当事者選手　10人　サポートスタッフ　5人

◆法人会員　正会員18人
　賛助会員　団体5団体　個人47人
◆今年度寄付金　のべ30人　723,250円
◆寄付物品　牛乳パック

編集後記

流行語大賞、今年は阪神・岡田監督の「アレ」でしたね。皆さんの極私的流行語は何ですか？　私は「ふじいがふじいを食べる」です。11月に小樽開催の将棋竜王戦で藤井聡太八冠が倶知安「お菓子のふじい」さんの塩バター大福を食べたことで話題に。羊蹄山ろくが良い話題で出るのは嬉しいです。では良いお年を。（かわさき）

はたらく馬とふれあい体験 〜12月10日　百年の森公園

（開催協力した「くっちゃん子ども子育て応援し隊Popke Lab」さん撮影）

ＧＨエアコン設置〜馬主社会福祉財団さまからの助成

今年9月に公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団さまから、グループホームまどかのエアコン設置に助成金45万円の決定をいただきました。すぐ業者に連絡し11月21日に無事エアコンをリビングに設置することができました。

今年は倶知安でも8月23日に歴代最高の34.6度、25日には最低気温が23.9度と猛暑が続きました（気象庁のデータより）。グループホーム利用者の中にも体調を崩す方がおり、暑さ対策は喫緊の課題でした。

当法人は平成26年にも馬主社会福祉財団さまから厨房機器の購入助成を受け今回で2回目になります。来夏からは利用者さんが快適な生活を送ることができるようになります。

馬主のみなさまからのご寄付に改めて感謝申し上げます。

↑まどかに設置したエアコン

←財団のロゴはエアコンと玄関にそれぞれ掲示しています。

同友会　栗山英樹氏の記念講演に会場参加！

10月7日に旭川市で開催された北海道中小企業家同友会主催の第38回全道経営者“共育”研究集会inあさひかわ。後志小樽支部山麓地区会８人の方と会場参加しました。

記念講演は、2023WBCで世界一になった元日本代表監督の栗山英樹氏が約1時間半熱く語られました。「経営者でない僕がきょうの研究集会でお話しする、WBCでのチーム作りの体験が、人づくりに共通するのでは」と始まった数々の選手とのエピソード。「皆さんここだけの話ですよ。会場出たら忘れてくださいね」「もう時間が無くなりました。でも翔平の話聞きたいですよね？」と会場の笑いを誘い、気持ちをぐっと引き付ける栗山節炸裂でした。

講演のタイトル「夢を追いかけて～信念をもとに変革と創造的な実践～」は、私たち障がい福祉に携わる人間にとっても共通したテーマだと思いました。紙面でご紹介できない数々のエピソードは偶然でなく緻密なデータに基づいて仕組まれていた？　そして選手たちの成長の軌跡の先に世界一の瞬間が生まれたのだと。いま思い返しても胸が熱くなります。栗山町にご自宅を構え栗山町民の栗山監督。同じ北海道民なんですよね。嬉しいです！（こばやし）

記念講演会場の旭川市公会堂

第6分科会　全道障害者問題

変わる倶知安駅周辺～都市計画説明会

A案
「倶知安の四季とつながる舞台の駅」

B案
「羊蹄の風景が彩る壮麗な佇まいの駅」

C案
「ふるさとの雄大な山々に呼応する稜線の駅」

11月30日、倶知安町まちづくり新幹線課が倶知安駅周辺の住民向けに「駅前広場等の都市計画変更に関する住民説明会」を倶知安町総合体育館にて開催しました。当法人も駅周辺の対象であるため理事長が出席しました。

倶知安駅とその周辺は2030（令和12）年度末めどの北海道新幹線の開業に合わせ、駅舎とその周辺を改修する計画です。説明会では駅舎案と駅前広場の整備、駅の前を横切る西3丁目通りの拡幅（かくふく）、南1跨線橋（こせんきょう）（車とＪＲの立体交差）の廃止に関する説明がありました。詳細は未定なことが多く、現時点での状況説明が主でした。早ければあと7年で新幹線が倶知安駅に停まります。

左写真は鉄道建設・運輸施設整備支援機構から倶知安町に提示された駅舎の3つの案です。近く町民アンケートを通じて町の推薦案が機構に示され、最終決定になるそうです。

倶知安駅とその周辺はどのような風景になるのでしょうか。楽しみです。

写真提供：倶知安町　まちづくり新幹線課

利用者に歯科検診

11月、倶知安保健所により「障がい者（児）歯科保健医療連携推進事業」としてワークショップようていとグループホームの利用者を対象に歯科検診をおこないました。

利用者34人中14人が法人相談室・休養室で検診とブラッシングの保健指導を受けました。一人一人ていねいな説明を受け、歯科医へ予約したり、歯磨きに気をつけたりと歯への関心がいっそう高まったようでした。

この事業は、倶知安保健所管内の障がい者の事業所に案内を送り、協力申し出があった当法人で実施したとのことでした。

障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい

今季の畑作業を終了

農業部は11月はじめに今期の畑作業を終了しました。

今年は大変な猛暑の影響か、じゃがいもはSサイズとMサイズが中心で小ぶりな収穫となりました。豆類も黄大豆・茶大豆は良品が取れず販売出来ない状態で、唯一黒千石大豆だけが販売できそうです。食べチョクの売れ行きは好調でリピーターの方に何度も買っていただきました。じゃがいもは11月で完売し、12月現在はバターナッツかぼちゃのご注文をいただいています。聞き慣れない名前だと思いますが、スープにするとまろやかでとてもおいしいかぼちゃです。

簡易トイレやトラクターは冬の間、農家さんのご協力で倉庫に置かせていただいています。
これから除雪の毎日。委託作業をがんばります。

ニオ積みした豆の穂から豆を収穫する作業（10月撮影）

簡易トイレは軽トラックで収納倉庫まで運びます（写真は4月の搬出作

コミュニティカフェ わっくわく

コーヒーテイクアウト始めます

コミュニティカフェわっくわくでは、12月18日（月）からホットコーヒーのテイクアウト販売を始めます。210ミリリットルのサイズのみで350円です。

コーヒー豆は京極町の「自家焙煎珈琲かふぇもか店」から購入しています。今夏に北海道新聞の助成金で購入したコーヒーマシンを使って淹れています。香りと味わいの深い当カフェのコーヒーをぜひテイクアウトでもお楽しみください。